

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～25℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の36%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.8トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げで前週の2倍（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の59%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり24kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり2.5トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり207kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり73kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり175kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年並み）。
- トビウオ船曳網――北松生月地区では、前週で今期の漁を終了した模様。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/19日～10/23日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（大和堆付近）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖にかけて出漁した。鳥取県西部：3日延15隻、総計653箱、1航海最高98箱、平均43.5箱、スルメイカを中心に漁獲、魚体は20～30入主体。今期は、隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖にかけて漁場が形成し漁獲は増加した。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>